

LIBERTY

学園広報誌 [リバティ] 九州共立大学 / 九州女子大学 / 九州女子短期大学

vol. 14
2016
Summer

九州共立大学創立50周年
記念式典・祝賀会、記念事業

特集

奨学金・独自の学生支援制度

充実の学生生活で
あしたへ

学是自律処行
福原学園

福原学園

あゆみ

その

1



教育への情熱 私学創設へ動かす

福原学園の創設者、福原軍造は明治35年、現在の福岡県鞍手町で福原家の五男として生まれた。

軍造は父母のすすめもあって教育者の道を歩む。その期待に応え、小倉師範学校で学んだ後、小学校教師になる。しかし、向学心を抑えることができず、立正大学に進学。在学中も小学校の教師を務め、卒業後は中学校や高等女学校で教えたが、当時の学校教育は詰め込み主義。軍造は人間形成の場がないことを憂えた。

そこで幼稚園から大学まで一貫し「人による人にまでの教育」をおこなうべく私学創設を決意。交通至便で通学が容易、空気が清澄、将来的に発展が期待できるなどの理由から折尾の地を選び、福原高等学院を創設。自らも土地の整備に汗を流し、ここを学問の自由を旨とする「自由ヶ丘」と呼ぶことにした。

そして、第1期校舎が完成。福原学園はその一歩を踏み出した。

昭和22年、軍造45歳のときであった。

LIBERTY

学園広報誌 [リバティ]

九州共立大学 / 九州女子大学 / 九州女子短期大学

vol.14 | 2016 Summer

事務局：福原学園 法人事務局 総務部 広報室
TEL：093-693-3083
URL：<http://www.fukuhara-gakuen.jp/>
発行：学校法人 福原学園
発刊日：平成28年6月1日

Contents

創設者 福原軍造の書

九州共立大学創立50周年 記念式典・祝賀会、記念事業



02

■特集

奨学金・独自の学生支援制度 充実の学生生活であしたへ

九州共立大学・九州女子大学・九州女子短期大学には、学生をバックアップするさまざまな奨学金や独自の支援制度がある。それらを活用して充実の学生生活を送り、未来へ向かって突き進む学生たちの姿を追った。

【学力特待生制度 SA】

九州共立大学 経済学部 経済・経営学科 3年 豎山 莉沙子さん

【学生スタッフ奨学生制度】

九州共立大学 経済学部 経済・経営学科 4年 山口 貴弘さん

【技能特待生SA 陸上】

九州共立大学 スポーツ学部 スポーツ学科 2年 木村 友大さん

【技能特待生SA 野球】

九州共立大学 経済学部 経済・経営学科 4年 屋宜 駿杜さん

【学力奨学生制度 奨励奨学金】

九州共立大学 スポーツ学部 スポーツ学科 卒業 新垣 優斗さん

【書道特待生制度】

九州女子大学 人間科学部 人間発達学科 人間基礎学専攻 3年 杉原 遥さん

【福原学園同窓生子女優遇制度】

九州女子大学 人間科学部 人間発達学科 人間発達学専攻 4年 亀澤 彩音さん

【社会人入学生優遇制度】

九州女子大学 家政学部 栄養学科 3年 伊井田 京子さん

【指定校特典制度】

九州女子短期大学 子ども健康学科 2年 永田 美咲さん



【私が教えていること】教員インタビュー

九州共立大学 スポーツ学部 スポーツ学科 准教授 篠原 純司

九州女子大学 家政学部 人間生活学科 准教授 西田 真紀子



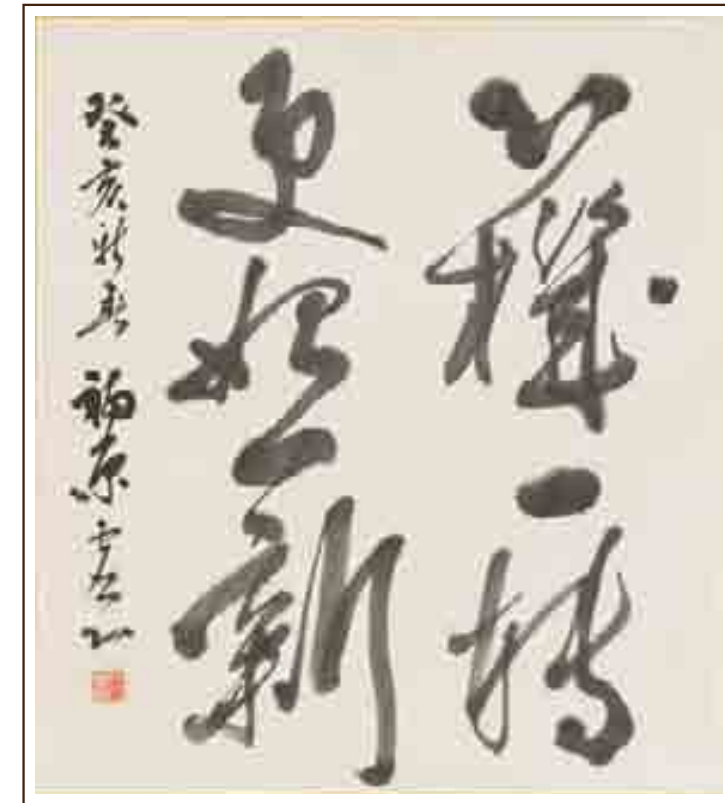
16

【Liberty Topics】

「弘明館」落成式 / プロ野球選手との集い /

九州共立大学・九州女子大学・九州女子短期大学オープンキャンパスのお知らせ / 学内が全面禁煙に

20



【創設者 福原軍造の書】

「心機一転 更始一新」癸亥新春 福原虚心

これが、色紙に書かれた言葉である。

色紙という限られた白の中に、伸びのある線で書かれた作品である。

誰もが、この書を見るとそのスケールの大きさを感じるであろう。

一点の曇りもない、清々しい線質と墨色。

「癸亥新春」は、1983年1月である。福原軍造81歳。

この年、福原軍造は、「国際武道院並びに国際武道連盟会長」

「日本私立大学協会副会長並びに九州支部会長」に就任する。

さらに、この年の秋には、日本学士会よりアカデミア大賞を受賞している。

まさに「更始一新」である。

本学園は、平成24年に九州女子大学が、

昨年は九州共立大学が創立50周年を迎え、ひとつの節目を迎えた。

そして、今年度は九州女子大学・九州女子短期大学に、

新棟「弘明館」が誕生した。

知の拠点として、新たなスタートである。

創設者・福原軍造の、この澄みきった伸びやかな書のように、

本学園は歩みを始めた。

【解説】九州女子大学 人間科学部 人間発達学科
准教授 古木誠彦

創立50周年 記念事業

[関連団体企画による事業]



①後援会との合同企画

「島田洋七氏 記念講演会」

演題「洋七流教育論(子育て論)」

平成27年6月6日 ※後援会総会開催日

自由ヶ丘会館4階多目的ホール

「佐賀のがばいばあちゃん」でおなじみの島田洋七氏による特別記念講演会を開催しました。

②同窓会との合同企画

「50周年記念ホームカミングデー・二宮清純氏記念講演会」



平成27年10月24日 ※同窓会総会開催日
自由ヶ丘会館4階多目的ホール

スポーツジャーナリストの二宮清純氏を迎え、「スポーツと人生の係わり方」というテーマで記念講演会を開催。多くの卒業生をはじめ、学生や地域の方々に参加いただきました。

[記念講演会]

「霜月祭特別学術講演会」

平成27年10月25日

深耕館2階S210教室

九州大学大学院教授

藤原 恵洋氏

「足思手考と文化遺産

～世界遺産を物語る心～」



[キャンパス整備事業]

後援会による寄付事業

木陰のあるくつろぎの場

「憩いの広場」「五輪の庭」

本学後援会からの多大な寄付により、休み時間や放課後に学生たちが寛げるスペースが完成しました。

写真上／スポーツ学部A館前

「憩いの広場」

写真下／サッカー場前「五輪の庭」

寄付工事・キャンパス内舗装工事一式
丸公産業株式会社 代表取締役社長 今井 公人様

〈教育研究支援募金〉

九州宏和有限会社 代表取締役 柳井 俊一様 30万円

共立振興産業株式会社 代表取締役 米山 胤次様 100万円

青山商事株式会社 代表取締役 青山 理様 50万円

コカ・コーラウエスト株式会社 代表取締役社長 吉松 民雄様 50万円

[その他]

①九州共立大学創立50周年記念 学内フラッグ／

学園大通りフラッグ

②九州共立大学創立50周年記念ピンバッジ

③ロゴマーク ④折尾駅舎提灯

2万8000人を超える卒業生 スポーツ界など幅広い場で活躍

九州共立大学創立50周年 記念式典・祝賀会

開催日／平成27年10月10日



祝賀会

本学
自由ヶ丘会館
多目的ホール



記念式典

本学
鶴鳴記念館



「自律処行」を胸に 未来を拓け

九州共立大学は1965年の大学創立から2015年で50年を迎えました。これを記念して昨年の10月10日、創立50周年記念式典を本学鶴鳴記念館で、祝賀会を本学自由ヶ丘会館多目的ホールで開催しました。

記念式典には小川洋福岡県知事をはじめ、多数の来賓のみなさまをお迎えし、教職員や学生らを含め約2500名が参加。大学50年の歴史を紹介する映像を上映した後、奥田俊博学長が「これからも学生と教職員が共に立った教育活動を展開し、地域と共に立つための連携強化を推し進めたい」と挨拶。続いて福原公子理事長が「学生は自らの良心と他者への共感の大切さ、学是『自律処行』を心に刻み、未来を開拓してほしい」と述べました。

祝賀会では来賓のみなさまや本学関係者が和やかに歓談するなか、本学経済学部3年の伊藤優希さん率いる和太鼓集団「MURAI」によるパフォーマンスが披露され、会場に華を添えました。

理事長メッセージ

九州共立大学は学是「自律処行」のもと、教育に情熱を注ぎ、社会に必要とされる人材を育成してきました。これまで2万8千人を超える卒業生がスポーツ界をはじめ、地域社会のさまざま

な分野で活躍しております。これもひとえに大学発展にご尽力いただいたみなさま、地域のみなさまのおかげと感謝しております。

50年という節目となった2015年はさまざまな記念事業をおこない、あらためて歴史の重みを感じる年となりました。ここに記念事業のご報告をさせていただきます。ご協力いただきましたことにあらためてお礼を申し上げます。

この50年をこれからの50年、100年に向けての幕開けと捉え、伝統を継承しながら地域社会に貢献できる大学としてより一層の充実を目指してまいります。今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

書道
特待生
制度

九州女子大学
杉原 遥さん



学力
奨学生制度
奨励奨学金

九州共立大学
新垣 優斗さん



技能
特待生SA
野球

九州共立大学
屋宜 駿杜さん



特集

奨学金・独自の学生支援制度

充実の学生生活で あしたへ

幅広い教養や専門的知識を身に付けるため、
 またはスポーツや芸術などの才能を伸ばすため、大学にはさまざまな目的を持った学生が集う。
 しかし、高い意欲を持ちながら、経済的な理由などで進学を諦めるケースもあるだろう。
 九州共立大学・九州女子大学・九州女子短期大学では、このような学生をバックアップする、
 さまざまな奨学金や独自の支援制度を設けている。
 本学の支援制度は、学業、スポーツ、芸術に秀でた者の支援のほか、入学後に学友会活動や課外活動で
 強いリーダーシップを発揮する者、大学で専門知識を学びたい社会人に対し、
 独自の制度で支援の幅を広げている。
 平成27年度からは新たに福原弘之奨学生制度、教育研究支援募金奨学生制度を創設し、
 学生支援をさらに強化させた。
 今回の特集ではそれらを活用して充実の学生生活を送り、未来へ向かって突き進む学生たちの姿を紹介する。



指定校
特典制度

九州女子短期大学
永田 美咲さん



社会人
入学生
優遇制度

九州女子大学
伊井田 京子さん



福原学園
同窓生子女
優遇制度

九州女子大学
亀澤 彩音さん



技能
特待生SA
陸上

九州共立大学
木村 友大さん



学生
スタッフ
奨学生制度

九州共立大学
山口 貴弘さん



学力
特待生制度
SA

九州共立大学
豎山 莉沙子さん



大学を超えて 広がった出会い 自分を高めてくれた 大学祭実行委員会

**学生スタッフ
 奨学生制度**

.....
 在学生のうち、前年度に
 学友会活動に貢献し、
 学生支援部長から
 推薦があった学生が
 対象

勉 強以外に、何かやりがいを見つけない。そんな思いで大学祭実行委員会に参加した。入会後、委員の先輩に学生スタッフ奨学生がいたため、初めてこういう奨学制度があることを知った。そこで申請すると学生支

学ぶほどに知る 経済学のおもしろさ 資格を取り、 人生設計を手伝いたい



**学力特待生
 制度 SA**

.....
 一般入試、大学入試センター
 試験利用の
 学力特待生入試において
 学力優秀者が対象



豎山 莉沙子さん
 九州共立大学
 経済学部 経済・経営学科 3年
 (鹿児島県立
 志布志高等学校出身)

食 わず嫌いという言葉があるが、何かのきっかけで嫌いと思っていたものが好きになることがある。本学の学力特待生に選ばれている豎山莉沙子さんの場合、経済学がそうだった。高校で受けた政治経済の授業は退屈で、何の役に立つのかよくわからなかった。ところが、センター試験対策で必要に迫られ、勉強してみた。すると、「意外におもしろかったのです」。経済は社会がうまく循環するために働く血流のようなもの。その仕組みを知るのが楽しく、就職しても知識は欠かせないはずと経済学に興味を持った。今の目標はファイナンシャルプランナーの資格取得だ。また、プランニングには資金計画が必要のため簿記の知識も欠かせない。そこで簿記3級合格も目指している。「資金計画など、プランニングするのが好きです。お金という数字で根拠を示すことができるのが気に入っています」



山口 貴弘さん
 九州共立大学 経済学部
 経済・経営学科 4年
 (長崎南山高等学校出身)

援部の先生からの推薦もあり2年生から受給が認められた。おかげで経済的な負担が軽くなった上、実行委員としての責任感が芽生えたという。委員会では1年をかけて大学祭の準備を進める。時間には追われるが、学部や学年を超えての活動や他大学との交流で人脈が広がり、去年は大学祭実行委員会委員長に就任した。「実行委員会は部門ごとに分かれて活動するので、全体の把握やこまめな連絡に気を配りました。イベントやポスターの打ち合わせで芸能事務所や印刷会社の方に会い、言葉遣いや仕事の進め方などを学ぶことができたのも貴重な体験でした」と振り返る。人前に出ることが苦手だと思っていたが、副委員長として学生スタッフの前で話をするうちに自信が付き、プレゼンテーションも堂々とこなせるようになった。

高校まで野球に熱中していたため、ゆくゆくはスポーツに関わる仕事に就きたいと思っていた。しかし、今は幅広い分野のなかから興味のある仕事を探そうという気持ちに変化した。大学祭実行委員会での体験や出会いが視野を広げ、自分の可能性をより高めたと確信したからだ。その経験から、自由な時間が多い大学生活で何かに熱中しないのはもったいないと実感した。だから、「いろいろなことにチャレンジして、時間を大切に使うって欲しいですね」と後輩にエールを送る。



実行委員会副委員長として関わった第51回霜月祭のパンフレット。「我夢謝楽」という昨年のテーマ同様、がむしゃらに頑張った1年だった。

一方、もっと自分の世界を広げたいと意気込み、今年から他大学の学生との交流団体に参加しようかと考えている。すでに男子ソフトボール部のマネージャーも務めているため、学生生活は結構忙しい。そんななかにあっても特待生は一定の成績が求められるため、勉強はおろそかにできない。「授業は必ず出席し、テスト前にあわてないよう先を見越して行動する習慣が身に付きました」その「先を見越す力」と、生来の「人のために役に立ちたい」という気持ちを生かし、資格が取れば保険業か不動産関連の仕事に就き、多くの人の人生設計を手伝いたいと考えている。自身の未来設計図も徐々に形を現しつつあるようだ。



資格取得のためのテキストはいつも持ち歩いている。聞き慣れない専門用語や複雑な財務の仕組みが難しく感じているが、資格取得という目標に向かって学ぶのは楽しい。

特集

奨学金・独自の学生支援制度 充実の学生生活であしたへ

中 学時代は砲丸投げの選手だったが、高校でハンマー投げに転向した。体を回転させ、遠心力を利用して鉄球を投げるハンマー投げは、回転速度や投げ出す角度で飛距離が決まる。そのおもしろさへのめり込んだという。結果はインターハイ優勝、国体優勝に結びついた。

そんな高校3年生のとき、九州共立大学陸上部の疋田晃久監督の指導を受けたことがあった。「わかりやすい指導に感動したことを覚えています」。こうした縁もあり、高校の推薦を受けて技能特待生として本学に入学。憧れの監督のもとで鍛錬の日々を送る。「経済的な心配もなく大学で競技が続けられることや、全国から集まったレベルの高い学生といっしょに練習できる環境に感謝しています」

陸上部ではお互いを高め合う気運が強く、テスト前は陸上部の仲間と勉強会を開く。おかげで学業成績を保ちながら、昨年は全日本インカレ（日本学生陸上競技対校選手権大会）決勝出場、日本ジュニア選手権で大会新記録で優勝するなど、充実した1年を送ることができた。

モチベーションをさらに高めてくれるのが、ライバルの存在だ。

小 学生の頃からプロを夢見て野球に邁進。ピッチャーとしてチームを引っ張った高校3年の秋、沖縄県大会でベスト4入りを果たす。このとき九州共立大学硬式野球部の監督から「うちに来ないか」と声をかけられた。「強豪校といわれる大学で野球ができる。夢に近づいたかなど、喜びで一杯でした」

こうして技能特待生の推薦を受けて入学。ほかの部員と共に寮生活をしながら野球に打ち込む。「寮費や試合の遠征費など親元を離れて野球を続けるには費用がかかります。奨学金のおかげで親の負担を減らすことができ、気持ちを野球に集中できるのがありがたいですね」

平日は早朝、放課後、空き時間を使った自主練習と、合計4〜5時間を練習に割く。加えて試合や遠征と野球漬けの毎日を送るが、学業をおろそかにすることは野球部が認めない。「部のルールは厳しく、授業の出席率が悪いと試合に出してもらえません」。だから自己管理に努め、学業と野球を両立させている。

特待生として期待に応え

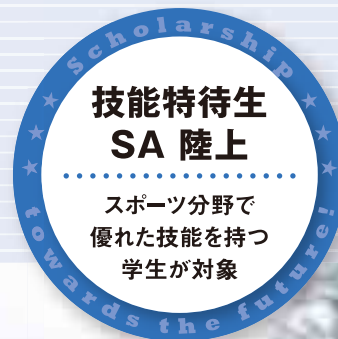


やぎ ゆうと
屋宜 駿杜さん
九州共立大学 経済学部
経済・経営学科 4年
(沖縄県立前原高等学校
スポーツ科出身)



技能特待生
SA 野球
スポーツ分野で
優れた技能を持つ
学生が対象

たいという責任感からプレッシャーを感じることもあった。それを「やってやろう」という気持ちに切り替え、原動力にしていた。一方、野球部を通し、自分を律することや目上の人への気遣いなどが学べている。キャンパスでは野球以外の友人も増えて視野が



技能特待生
SA 陸上
スポーツ分野で
優れた技能を持つ
学生が対象

「競技分野は違いますが、大会のたびに成績や記録を競い合う友人がいます。彼が2位なら自分は優勝を、同じ優勝なら大会記録を出してやろうと、お互いに燃えて刺激し合っています」

木村 友大さん
九州共立大学
スポーツ学部 スポーツ学科 2年
(京都府立乙訓高等学校
スポーツ健康科学科出身)

録を伸ばすのはもちろん、礼儀やあいさつなどが自然にできるよう心がけている。今年の目標は、ハンマーも人間性も自身の名前のごとく、さらに大きく飛躍させることだ。

「記録も自分もさらに飛躍させたい」
ライバルと競い合い、
もつと高みへ



特待生への期待がやる気原動力
実り多き4年めへ向け、
直球勝負

広がった。この3年間で野球ばかりではない、いち人間として力がまわったと思っている。去年は秋の福岡六大学野球リーグで優勝するも、九州地区大会で優勝を逃した。大学生活最後の今年、九州地区大会優勝、全国大会出場を目指し、実り多き1年にしたいと直球で挑む。



小学1年生で野球を始め、グローブは体の一部のように馴染む。「卒業後は実業団に入り、さらに力をつけたいですね」と屋宜駿杜さん。



ハンマーの重さは7.26キログラム(男子)。高速回転で投げる技術力と、投げる瞬間、背筋にかかる負荷に耐える強靱な肉体が必要だ。練習で使うハンマーは鉄より比重が高いダクタイルという鑄鉄できている。

奥深い書の世界と格闘する日々 考えて、書いて、自分の「形」探す

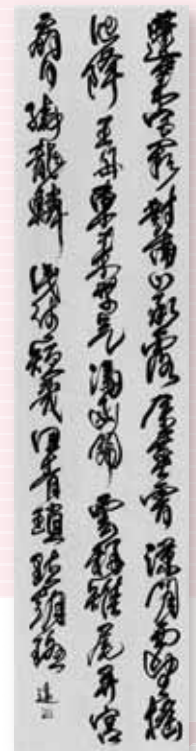


杉原 遥さん

九州女子大学
人間科学部 人間発達学科
人間基礎学専攻 3年
(佐賀県立佐賀北高等学校
芸術コース出身)

書道 特待生制度

書道技能、
人物ともに
優れた者が対象



杉原さんの書

全 国でも少ない書道専門カリキュラムを持つ九州女子大学で書道特待生として学ぶ。小学1年生で書を習い始め、小学6年生のとき高校生のパフォーマンス書道に憧れて、専門授業がある高校に入学。さらに道を極めたいと、特待生制度を利用して本学へ進学した。

大学生になっても書道漬けの日だが、書くことより調べたり考えたりする比重が大きくなった。「高校では先生の手本を見て書いていましたが、大学では手本はもたえません。ひとつの作品をつくるのに自分で詩文を探して字の崩し方も調べ、どう表現するか自ら考えることが求められます」

そうした過程は書道の奥深さを教えてくれるが、一方で作品づくりの難しさに直面することも多くなった。特待生としてよい結果を出したい気持ちが強く、自分の作品がいいのか悪いのか、いくら書いても自信が持てなくなったのだ。「先生の評価や指導は厳しく、かなり落ち込んだ時期があり

ました」

しかし、美術館や博物館で書以外の芸術や歴史・文化に触れ、視野を広げることで作品のひらめきを得ることにした。今では先生の背中を懸命に追いかけてながら書いていこうと気持ちを切り替え、作品にも以前になかった力強さが出てきたと感じている。いつでも書で切磋琢磨する仲間の存在もありがたい。

将来の目標は自分の書道教室を持つこと。大学では書道教諭資格取得のための勉強にも余念がなく忙しい毎日を送るが、自分らしい書を目指し、きょうも一心に筆を運ぶ。



墨色が強く、流れるようなやわらかな字が理想。作品づくりでは紙の大きさや書く内容に応じて筆を使い分け、20本以上も所有する。

野球も勉強も フルスイング主義 掴んだ奨学金で 充実の学生生活



LIBERTY [リバーティ]

学力 奨学生制度 奨励奨学金

文化やスポーツ、
社会貢献で成果・業績を
上げている学生が
対象

新垣 優斗さん

平成27年度 九州共立大学
スポーツ学部 スポーツ学科 卒業
(沖縄県立浦添高等学校出身)

大 好きな野球がやりたくて沖縄から九州共立大学に入学。準硬式野球部に入ったが、「一人暮らしで親に負担をかけているという思いが入学当初から頭を離れませんでした」と話す。そんなとき、奨励奨学金を受けている部の先輩がいて、制度のことを知る。そこで大学2年のとき、奨学金募集が始まるとすぐに応募した。

奨励奨学金はスポーツで成果・業績を上げていることを条件に単年度ごとに審査するもの。ただし、学業も一定以上の成績を満たしている必要がある。「だから、野球に打ち込むのは当然のことながら、成績を落としたりできなかったので授業が終わったらその日のうちに内容をノートにまとめ、部活動が休みの日は勉強に集中しました。資格も何か取っておきたかったので、3年生のとき日商簿記3級を取得しています」。そういった努力の



昨年の福岡県大学準硬式野球秋季リーグ優勝トロフィー、ベストナイン三塁手賞のトロフィーと賞状。野球も勉強も妥協しない、充実した学生生活を送ることができた。

結果、見事に審査を通過して3年次に受給。4年次は簿記の資格取得が功を奏し、連続して審査に受かった。

もともと、野球だけの4年間にしたくないという思いが強く、勉強にも励んでいた。そこへ2年間、奨学金を受給した恩恵でアルバイトをする必要もなく、学費や野球用具購入の費用が一部賄えて学業と両立ができた満足している。

それは、昨年の福岡県大学準硬式野球秋季リーグ戦での7年ぶりの優勝とベストナイン選出、全国大会への2年連続出場という形でも現れた。この実績と狭き門であった奨学金受給審査通過、それに一人暮らしで身に付けた自己管理術は、大いに自信になった。

この春、自動車販売会社に就職できたのは、そのおかげだと考えている。



栄養学はとても興味深く毎日が発見と感動の連続だが、苦手なのが実験だ。器具の細かい目盛りを見るのが大変で、周囲の学生がさりげなくサポートしてくれるのがうれしい。

今、小学校教諭を目指し猛勉強しているが、高校3年の秋頃まで目標が定まらなかった。「中学では剣道に打ち込み警察官になったかったです。しかし、ピアノも習っていたため子どもに音楽を教える楽しさにも惹かれていました」

そんなとき、自分の悩みに向き合ってくれた中学校の恩師を思い出した。子どもの気持ちに寄り添うああいう先生になりたい。そう考え始め、小学校教員を目指すことにした。

本学に入学したのは希望に合う学部があった上、福原学園同窓生子女優遇制度が受けられたからだ。「母が九州女子大学附属高等学校(当時)の卒業生で以前から親しみを持っていましたし、優遇制度で親への負担を軽くしたいという気持ちもあったのです」

1・2年次は基礎的な授業が多かったが、3年次では模擬授業や実習など実践的な授業が増えた。すると、子どもに「伝える」ことの難しさに直面した。そこで、子どもと接する機会をたくさん持ちたいと、小学校で授業補助をするボランティア・グリーンティチャーや、小学生が公民館などで集団生活しながら学校に通う「通学合宿」という取り組みなどで積

主婦

として家族の健康を預かるなか、食事には気を付けていたが、数年前、体調を崩して入院。「病院での食事のおいしさに感動したのですが、そのとき管理栄養士という仕事を知りました」素敵な職業だと思いき、いつか専門的に栄養学を学びたいという気持ちが強くなった。そこで、社会人入学試験制度を利用して九州女子大学に入学。現在、管理栄養士を目指し栄養学科で学んでいる。

社会人入学制度を設ける大学が多いなか、本学を選んだのは学生の雰囲気がよく、年齢が異なる自分も受け入れてくれる優しさを感じたからだ。受験では大学から送られてきた模擬試験を参考に論文テーマを想定しながら勉強したが、「長年、文章を書くことから遠ざかっていたので漢字の勉強か

母の学び舎で目指す 小学校教諭 厳しくも温かい 指導に手応え

極的にボランティア活動に参加。コミュニケーションの取り方を身に付けてきた。

「勉強は厳しいですが、先生は春休み中も模擬テストをしてくださり、今年の採用試験に受かった先輩を招き合格に向けての体験を聞く場を設けていただきました。温かく指導してくださいます。この大学で学べてよかったですと実感しているところです」



亀澤 彩音さん
九州女子大学
人間科学部 人間発達学科
人間発達学専攻 4年
(福岡県立北筑高等学校出身)

Scholarship
**福原学園
同窓生子女
優遇制度**
福原学園が設置する
大学、短大、高校の
同窓生の子弟・子女が
対象

ら始めました」と笑う。大学は連日の授業のほか、レポートや課題の提出も多い。主婦であるとともに仕事も持つため、家事は朝と夕方に、仕事は週末に集中することで、毎日勉強時間を確保し両立を図っている。「家族や職場の協力で乗り越えています。大学からは授業料のサポートのほか、同世代の先生から高齢の家族についてアドバイスをいただくなど、公私ともに助けてもらい、ありがたいですね」

実習も増えてますます忙しい日々を送るが、新たな目標も見えて来た。「将来は管理栄養士の資格と主婦の経験を生かし、糖尿病や高齢者を抱える家庭に食事のア

ドバイスをする仕事やそのサポートを考えています」
今、目標に向かって学べる環境に感謝しながら、学ぶことの楽しさを実感している。

Scholarship
**社会人
入学生優遇制度**
社会人特別入試および
社会人編入試験に合格した者
社会人経験を4年以上
有するものが対象



伊井田 京子さん
九州女子大学
家政学部 栄養学科 3年
(西南女学院短期大学 英語科卒業)



日頃から教員採用試験対策の問題集や参考書を持ち歩き、少しでも時間があれば開くようにしている。

主婦業と仕事を こなしながら学ぶ 社会貢献を 視野に夢は 管理栄養士

〈本学独自の特待生制度・奨学金制度〉

九州共立大学

学力特待生制度

一般入試、大学入試センター試験利用入試の学力特待生入試において、学力優秀者を「SA特待生」入学金及び授業料・教育充実費・施設費全て全額免除、「A特待生」授業料全額免除、「B特待生」授業料半額免除として選抜。(免除は最大4年間)

●選抜条件:優秀な成績を修め下記①～③のいずれかの条件を満たす者で、かつ、目標達成のために大学が用意する講義、プログラム等※に積極的に参加し、他の学生の模範となる者。

- ①中学校または高等学校教諭を目指す者
- ②アスレチックトレーナーを目指す者
- ③優良企業(公務員含む)への就職を目指す者

※「大学が用意する講義、プログラム等」とは、ワークショップ、ボランティア活動、地域連携活動及び学友会活動等を指します。

資格保有者特待生制度

経済学部的一般推薦入試I期およびII期の受験者で下記の資格のいずれかを有し、「資格保有者特待生制度」を希望する者は、合格すれば授業料半額免除(最大4年間)ただし、合格した場合必ず入学すること(専願制)

●対象資格:日商簿記検定2級以上、全商簿記検定1級。

学力奨学生制度

学内活動においてリーダーシップを発揮し、かつ学業成績の優秀な、学生の模範となる者を対象に授業料半額給付(最大3年間・毎年申請)

- 「優秀奨学金」:模範生かつ学力優秀な者
- 「奨励奨学金」:文化、スポーツ、社会貢献で成果、業績を上げた者
- 「育英奨学金」:経済的困窮者で、修業意欲に富む者

学生スタッフ奨学生制度

学友会活動に特に貢献した者で、学生支援部長から推薦のあった者は、授業料半額免除(最大3年間)

海外プログラム特待生制度

海外に渡航して語学やスポーツ能力の向上を目指す者で、本制度の条件を満たした者を対象に、往復渡航費の全額または一部支給

九州女子大学・九州女子短期大学

学力特待生制度

学力特待生試験の成績上位者が対象で、初年度の授業料が免除され、入学後も学業成績に関する条件をクリアすれば最長4年間授業料が免除される。

書道特待生制度

書道技能および人物ともに優れた人材を迎え入れることを目的とした制度で、年間の授業料の全額免除と半額免除の2種類があり、入学試験時に決定する。

入試成績優秀者奨学金制度

入学試験の成績が優秀な受験生が対象で、入学金相当額の奨学金を入学後に支給する。

学力奨学生制度

在学生(2年生以上)で学友会、部活動、サークル等の学内活動を行い、かつ学業優秀でリーダーシップを発揮する模範生に奨学金を給付する。「優秀奨学金」「奨励奨学金」「育英奨学金」の3つからなり、それぞれに募集人員・選考基準がある。

社会人入学生優遇制度

社会人特別入試および社会人編入試験に合格した者。入学金全額免除・授業料および施設設備費を3分の2免除。

海外研修報奨制度

国際感覚を備えた人材として本学および地域社会に貢献するために積極的に海外留学を希望する学生に対し、短期海外研修費として報奨金を給付する。

九州共立大学・九州女子大学・九州女子短期大学共通の制度

福原弘之奨学生制度

学力特待生、技能特待生のA特待生、SA特待生及び留学生を除く大学4年生、短大2年生が対象で、定められた選考基準を満たした学生に、年間授業料の全額を給付する。

※ただし、他の奨学金制度から授業料の負担軽減として給付もしくは貸与を受けている金額を除く

教育研究支援募金奨学生制度

学力特待生、技能特待生のA特待生、SA特待生及び留学生を除く2～4年生が対象で、定められた選考基準を満たした学生に、年間授業料の半額を給付する。

福原学園同窓生子女優遇制度

福原学園の設置する大学、短期大学、高等学校の卒業生の子弟・子女は入学金の半額が免除される。

兄弟姉妹助成制度

兄弟姉妹が福原学園の設置する大学、短期大学のいずれかに同時に在学する場合、最年長者の施設費が全額免除される。

指定校特典制度

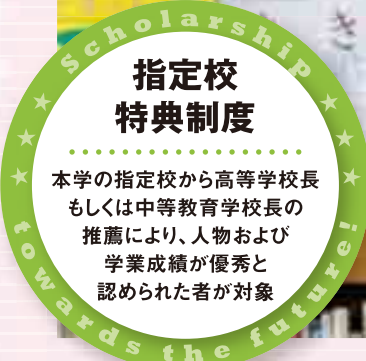
九州共立大学経済学部、九州女子大学人間科学部、九州女子短期大学において、指定校推薦入試により入学する者は、入学金を免除する。

特待生制度、奨学金に関するお問い合わせ

九州共立大学: 学生支援課 入試・広報課

九州女子大学・九州女子短期大学: キャリア支援課 教務・入試課

早く夢に
近づきたいと選んだ進路
実践重視の学びに
奮闘する日々



指定校特典制度
本学の指定校から高等学校長もしくは中等教育学校長の推薦により、人物および学業成績が優秀と認められた者が対象



永田 美咲さん
九州女子短期大学
子ども健康学科2年
(福岡県立若松高等学校出身)

中学3年のとき、すでに子どもに関わる仕事に就きたいと決めていた。九州女子短期大学に進学したのは姉のすすめによるものだ。「姉が九州女子大学に通っていたので親しみを抱いていました。だから同じ大学で学ぶことも考えましたが、目標がはっきりしているなら2年間で免許が取れる短期大学の方が向いているとアドバイスしてくれたのです」

早く夢に近づける。それならと高校3年の夏、九州女子短期大学に進むことを決めた。その際、面接のみで選考をおこなう指定校特典制度を利用することにした。試験対策に追われることもなかった。高校では体育祭の応援団活動などに積極的に参加した。「おかげで、高校時代はとても充実していたと思います。ただ、成績は落とさないよう気をつけていました」

こうして入学したが、授業内容

に高校生気分は吹き飛んだ。「大学では基礎的な知識を学びながら実践する授業が主体。入学後、8月には早くも見学実習、今年度の2月には保育園と児童養護施設で10日間の本実習をおこない、現場を体験しました」

授業と実習が同時進行というところも多いため、レポートや課題の教材づくりを出し忘れないよう繰り返しチェックするなど、自己管理も徹底している。その一方、2年間で免許を取得する大変さを実感し、命を預かる仕事の責任の重さも身にしみてきた。

しかし、子どもと触れ合ううち、子どもと関わる仕事がしたいという気持ちはいっそう強くなっている。取れる資格はすべて取り、子どもをきちんと指導できる力を早く身に付けることが目標だ。

実習で使った手作りのバベット。教材づくりも子どもに関わる仕事には求められる。



私が 教えている こと

九州共立大学
Kyushu Kyoritsu University

アスレティックトレーニングを指導
するとともに学生に経験を積ませ、
咄嗟の判断力を養わせる。



この3月14日と15日、本学に約600名の参加者を迎え、「学生トレーナーの集い」が開かれた。学生トレーナー部CAREのメンバーが企画から準備、運営までを担当。盛況のうちに終了することができた。

アスレティックトレーニングは1950年代にアメリカで発祥した考え方。日本ではアスレティックトレーナーの養成がスタートしおよそ20年が経過し、多くのアスレティックトレーナーがスポーツや医療などの現場で活躍している。また、健康志向やスポーツ熱の高まりからアスレティックトレーナーを目指す学生は増えてきている。

篠原純司先生がアスレティックトレーニングを学ぶきっかけとなったのは、少年時代の疑問

アメリカ留学で学んだ アスレティックトレーニング 次世代育成に取り組む

だ。「小学校から高校までサッカーをしていてケガをすることも多かったのですが、当時はアイシングという言葉すら一般的ではない時代。ねんご程度なら湿布を貼ってしばらく休養するしか選択肢がありませんでした」休めば筋力が落ち、競技に支障が出てしまう。効率よくケガを回復させる方法があるはずと思いついた。方法がわからなかった。

その後、スポーツ系専門学校に進学。アメリカのアスレティックトレーニングという学問や仕事の存在を知った。「求めていたのはこれだと直観し、アメリカ留学を決定しました」留学は12年間におよび、大学のアメリカンフットボールチームや高等学校のアスレティックトレーナーとして働き、さまざまなスポーツ現場を体験した。

本学では授業を教えるほか、アスレティックトレーニングをさらに深く学びたいという学生が集う学生トレーナー部CAREの部長を務め、学内リコンディショニングルームでトレーナー

活動を指導したり学生アスリートのケアをおこなう。授業や指導では留学中の経験談を交えながら、実際に起こりうることをイメージしやすく伝えるが、アスレティックトレーナーは咄嗟の判断が求められることもある。そのため、学生には失敗や成功を積み重ね、自ら行動できる力を身に付けて欲しいと期待する。

今の自分の使命はアメリカで得た知識と体験にきめ細かい日本の教育のよさを取り込み、質の高い授業をつくり上げること、そしてアスレティックトレーニングを学問として体系づけていくことだ。その先にアスレティックトレーナーが認知され、学生の就職の窓口が広がることを願っている。



アスレティックトレーニングの歴史が浅い日本では教材が不足していると実感。座学と実技、スキルチェックを繰り返すことで学びを定着させたアメリカでの体験をもとに、スキルチェック付きのテキストを作って学生トレーナー部CAREでの勉強会に利用している。検証を進めて、先々には書籍として出版できるよう作り上げて行く予定だ。

九州共立大学 スポーツ学部スポーツ学科 准教授

篠原 純司

アメリカ・カンザス大学スポーツ医学・ヘルスアンドヒューマンパフォーマンス学部卒業。アメリカ・オハイオ州立トレド大学大学院運動科学研究科修士課程、博士課程修了。運動科学博士。2011年に帰国し、九州共立大学助教に就任。2015年より現職。専門領域はアスレティックトレーニング・スポーツ医学。主な研究分野は足関節ねんご。発生頻度が高く再発率も高いねんごのメカニズムに科学的にアプローチし、予防や改善の方法を探っている。

食に携わる者なら野菜作りも体験した方がよいだろうと菜園も始めた。栽培する野菜の選定や手入れは学生に任せている。2年目を迎え、手入れのコツをつかんできたようだ。

私が 教えている こと

九州女子大学
Kyushu Women's University
Kyushu Women's Junior College

食や調理を学ぶ学生に栄養学や食品衛生学などの基礎を教える一方、食育に携わる。

大学で学ぶよさは、高校までに習ったことをさらに探求し、専門的な職業などに広がっていくことだと考える。しかし、「受験勉強重視のせいかな、多くの学生が高校までに家庭科で学んだことを覚えていません。ですから、栄養素の名前といった基礎から教えています」

とはいえ、理系科目に苦手意識がある学生は時に授業を難しく感じる。そこで、レバー嫌いの人はどの食品で鉄分を補給できるか、健康食品だけを摂っても効果を得にくいのはなぜかなど、身近な例で学生の興味を引く。

教室を飛び出し、食育にかかわる地域活動にも力を入れてい

食の学びを通し 地域に役立つ人材の育成 目指す

る。きっかけは2008年から3年間、北海道でおこなった実体験プログラムだ。学生が地域の食文化や農業を学び、その際に得た知識や技術を別の地域で役立てることができないか。そう常々考えていたが、ある伝手を頼り北の大地で実行に移した。終わってみると学生の成長を実感し、十分な手応えがあった。それならと2011年から宗像市・大島に舞台を変えて演習をおこなう。学生は、宗像市と大島コミュニティの協力のもと、敬老会や子供会での触れ合い、イベントでふるまう郷土料理の調理とおもてなしを手伝い、地元食材を使ったメニューも開発する。



大島では学生主体で料理作りをお手伝い。

4年生をリーダーにチームを

組み、事前準備から当日の活動まですべて学生の主体性に任せているが、気になるのは現代氣質。「今の学生は指示待ち世代と呼ばれる通り、いわれたことはこなしますが、他人と関わることは苦手。チーム間で疑問があっても積極的に尋ねない。指示する側の学生も伝え方に問題があります」と手厳しい。

しかし、そんな学生に対し即座に正解を与えるような指導はしない。学生自身に改善点を考えさせて次回に繋げていくのが西田流だ。適度な距離を置いて学生を見守り、意欲に火をつけていくのが教育者としての使命だと考えているからである。

もちろん、その先では、地域社会に貢献できる人材が育つことを待っている。



現在の地域生活演習のきっかけとなった「学生の総合的教育につなげる実体験プログラム・アウトキャンパススタディin北海道」。北海道厚沢部町の民家にホームステイし、大学では味わえない貴重な体験ができた。

九州女子大学 家政学部 人間生活学科
准教授

西田 真紀子

中村学園大学家政学部食物栄養学科卒業。九州共立大学工学部環境化学科(当時)助手に就任し、植物の有用成分の分離と構造解析を研究した。2004年7月、薬学博士を取得。翌年から九州共立大学工学部生命物質化学科(当時)講師を経て2012年より現職。担当科目は食品学、食物学、食品衛生学、食品学実験、地域生活学習演習など。食育をキーワードに地域生活活動を研究し、学生が地域で自主的な活動をおこなうことでのどのように学ぶかを見守っている。

新しい学びの空間「弘明館」が誕生

FROM 九州女子大学・九州女子短期大学

かねてより建設中だった九州女子大学・九州女子短期大学の新棟「弘明館」がついに完成し、この3月12日(土)に来賓の皆様と学生、教職員約400名を集め落成式をおこないました。落成記念式典後、来賓の皆様は、完成したばかりの館内を見学していただきました。開放的なラウンジやエントランスホール、自然光が降り注ぐプラムガーデンなどデザイン性豊かな空間に、見学者の間から感嘆の声が聞かれました。

弘明館50周年記念ホールでおこなわれた記念式典では、式辞や来賓祝辞に続き新校舎建設事業の経過を報告。学生代表からは、新たな環境で学ぶ決意が述べられました。祝賀会では福原公子学長や来賓があいさつ。歓談中は本学吹奏楽団のリバティ・ヒル・ウィンズによる演奏が披露され、終始なごやかな雰囲気の中、落成を祝いました。

弘明館は、地上4階建ての円形をモチーフにした建物。機能的な教室や保育ルーム、和作法室、学習目的に応じて広さを自由に変更できるアクティブラーニングスタジオなどがあり、快適で機能的な学びの場になっています。この新しい学び舎から、これまで以上に強くしてしなやかな九女なでしこが羽ばたいていくことが期待されます。



円形のモチーフが印象的な弘明館



福原公子学長の式辞



式典後、盛大におこなわれた祝賀会

九州共立大学出身プロ野球選手後援会 大瀬良投手らが参加し「選手との集い」を開催

FROM 九州共立大学

九州共立大学出身プロ野球選手後援による「選手との集い」を昨年(2023)の12月23日、ステーションホテル小倉で開催しました。

スポーツ分野で活躍するOBが多い九州共立大学では、プロ野球界にも多くの選手を輩出しています。「選手との集い」には、広島東洋カープの大瀬良大地選手、東京ヤクルトスワローズの新垣渚選手、千葉ロッテマリーンズの川満寛弥選手、平成26年に横浜DeNAベイスターズに入団した福地元春選手、同年、東京ヤクルトスワローズに入団した竹下真吾選手ら5名の現役選手と、元福岡ソフトバンクホークス選手の柴原洋氏、高橋秀聡氏が出席。プロ野球界での意気込みやそれぞれの思いを語り、学生をはじめ参加者との交流を深めました。今年度も引き続きみなさまのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



九州共立大学・九州女子大学・九州女子短期大学 オープンキャンパスのお知らせ

FROM 九州共立大学 九州女子大学・九州女子短期大学

九州共立大学・九州女子大学・九州女子短期大学のオープンキャンパスを下記の日時でおこないます。高校生のみならず保護者のみなさんのお越しをお待ちしています。事前予約は不要です。お気軽にご参加ください。

■九州共立大学

開催日／7月23日(土)・24日(日)
8月20日(土)・21日(日)、9月24日(土)
時 間／10:00～15:00(9:00受付開始。10:00からの全体会にはなるべくご参加ください)
参加者にはオリジナルグッズ(マルチポーチ、Cubic Clock)と入試情報資料をプレゼント。また、学食が無料で体験できます。

【お問い合わせ】TEL:093-693-3305
(九州共立大学・入試広報課)

■九州女子大学・九州女子短期大学

開催日／6月18日(土)、7月23日(土)・24日(日)
8月20日(土)・21日(日)、9月24日(土)
時 間／10:00～15:00
(6月18日のみ14:00～16:00)
参加者にはオリジナルグッズ、ランチボックス※、ドリンク引換券※をプレゼント。過去問題集など資料を無料配布。
※6月はありません。

【お問い合わせ】TEL:093-693-3277
(九州女子大学・九州女子短期大学キャリア支援課)

学内は全面禁煙になりました

FROM 九州共立大学 九州女子大学・九州女子短期大学

平成25年度より学内全面禁煙を実施している九州女子大学・九州女子短期大学に続き、九州共立大学学内を昨年9月24日より全面禁煙にしています。喫煙による健康被害は喫煙者本人のみならず、受動喫煙者への影響も想像以上に深刻であることは医学的に立証済み。平成15年施行の健康増進法でも大学等の施設において受動喫煙の防止が義務付けられています。一人ひとりが気持ちよく学内で過ごせるよう、みなさまのご協力をお願いします。